

福島市公設地方卸売市場経営戦略 概要版

卸売市場は生活に欠かせない生鮮食料品等を、いかなる状況下でも安定的に供給する役割があります。
持続可能な市場を目指し、様々な課題に対応していくため令和6年度から令和15年度(10年間)を期間とする「福島市公設地方卸売市場経営戦略」を策定します。

1 現状と課題

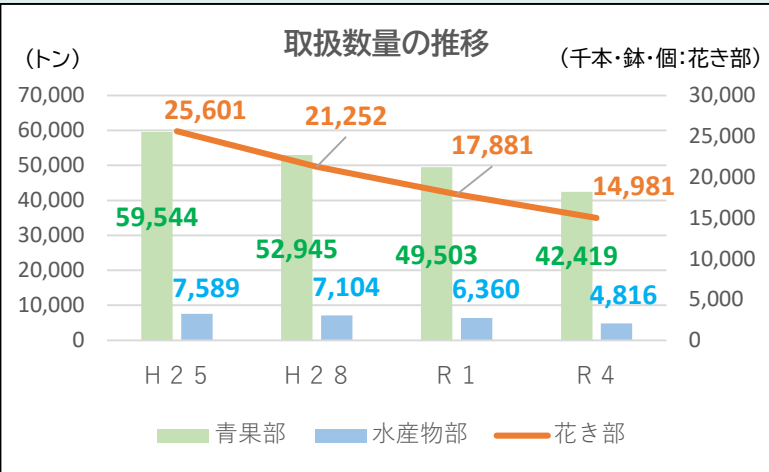
■全国の市場の現状

- 卸売市場数が減少(平成23年度～令和2年度)
1,231施設→973施設へ
- 市場経由率の低下(平成元年度～令和元年度)
青果部門は約8割から約5割へ
水産物部門は約7割から約5割へ
花き部門は約8割から約7割へ

■市場を取り巻く環境の変化

- 市場取扱数量の減少と流通及び販売形態の変化
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響
- 度重なる地震や豪雨災害
- ウクライナ侵攻等の世界情勢に伴う円安進行など
- 「物流の2024問題」トラックドライバーの労働環境改善を目的とした物流体制の見直しなどへの対応

■本市場の課題



- 建物の老朽化、一部の建物が新耐震基準未対応
- フロン類を冷媒として使用する設備のノンフロン機器への転換
- コールドチェーンシステムによる品質管理の高度化やHACCPの考え方を取り入れた衛生管理への対応

本市場の事業者数 (令和5年)

青果部
卸売業者 1社
仲卸業者 11社
水産物部
卸売業者 1社
仲卸業者 3社
花き部
卸売業者 1社
仲卸業者 2社
関連事業者
16社
合 計
35社

2 将来ビジョン

■将来ビジョン

ずっと安全・安心で高機能な流通拠点！！ 魅力あふれる福島市場！
～時代の潮流をとらえた持続可能な市場づくり～

★本市場の目指す姿

- ①高機能な施設により、さらなる品質向上と取引事業者、消費者からの信頼にこたえる市場。
- ②自然災害など非常時においても、供給を止めず、社会活動を維持する市場。
- ③産地市場ならではの集荷力や商品開発などにより「市場ブランド力」の高い市場。
- ④環境に配慮した機能の積極的な導入や市場のDX化、物流面の機能強化などによる次世代においても持続可能な社会インフラとしての市場。
- ⑤民間事業者のノウハウを活用した再整備や余剰地の利活用により、市場活性化や市場機能が強化された市場。

3 基本戦略と数値目標

■基本戦略

基本戦略1 次代を見据えた市場機能の強化

- ①品質管理・衛生管理の高度化(コールドチェーンシステムの導入、HACCP対応)
- ②危機管理体制の強化(事業継続計画(BCP)の見直し・運用)
- ③施設規模の適正化と効率化(施設規模をコンパクト化し効率化)

基本戦略3 地元・福島をいかし、次世代へつなぐ販売・経営力の強化

- ①取引の活性化(国内外市場への販路拡大、販売の強化、集荷力の強化、輸送業者への配慮)
- ②販売力の強化(福島市場ブランド、県産品GAP取得の促進、6次化商品の販売)
- ③将来を担う人材確保と育成(就職説明会や職業体験等の実施、人材育成・研修、食育・花育活動)
- ④風評被害の払拭(風評を受けている生鮮食料品を積極的に集荷・販売、新たな風評の払拭、放射性物質検査体制の継続)

基本戦略2 開かれた市場づくりと社会貢献

- ①市場の特性をいかした活性化(市場の開放、余剰地の利活用によるにぎわい創出)
- ②環境配慮(ゼロカーボン化、廃棄物ゼロ、自然エネルギーの活用)
- ③地域連携の構築(教育機関と連携する仕組みづくり)
- ④情報発信・共有の強化(SNSやプッシュ型ツール活用)

基本戦略4 持続可能で効率的な運営による市場運営の強化

- ①市場のDX化(販売ツールや物流管理としてICT、IoTの活用)
- ②経営マネジメント力の向上(業務の効率化、専門家による経営指導)
- ③フレキシブルな活用を可能とする市場(取扱数量の変化へ対応できる市場環境)
- ④民間活力導入を視野にいれ、余剰地も含めた市場の整備(費用の縮減、収益の創出)

■取扱数量・・・過去5カ年度平均と実績

部門	5カ年度平均 (H30年～R4年度)	令和4年度 実績
青果部	47,302トン	42,419トン
水産物部	6,057トン	4,816トン
花き部	17,145千本	14,981千本

■取扱数量目標値

人口減少等による取扱数量の減少が予測されるが、経営戦略の取組みにより数量の減少を抑え、再整備後は施設機能の強化等により数量の増加を見込む。

部門	目標値(令和15年度)
青果部	38,600トン
水産物部	4,000トン
花き部	13,200千本

4 投資・財政計画

- 令和15年度まで安定した経営に取組み、収支は黒字で推移。
- 民間活力導入を視野にいれ、余剰地も含めた市場の再整備により、費用の縮減・収益の創出を図る。
- 主な収入…利用料金収入、地代収入
- 主な支出…維持管理費、建設改良費

